

ちゅうなん

No.57 令和2年7月～9月期

景気動向調査

中南信用金庫 経営情報センター

所在地:伊勢原市桜台1-16-12 ☎ 0120-775-598

全業種総合

回答企業 **323社**(回答率94.4%)

県南西部 121社
県中南部 202社

今
期
の
実
績

業況判断D.I.は△39.9(前期比+10.6)と厳しさが続く!

当金庫の営業地域における企業の景気について、「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた今期の業況判断D.I.は、△39.9と前期に比べ10.6ポイントの上昇となりました。また、ブロック別における今期の業況判断D.I.は、県南西部が△41.3(前期比+9.1)、県中南部が△39.0(同+12.0)となりました。なお、その他の各D.I.の内容は以下のとおりです。

■県南西部

売上額は△28.1(前期比+22.7)と厳しさが続くなか、原材料・仕入価格は9.3(同+6.7)と上昇し、収益については△22.7(同+25.2)とマイナス域に留まっています。設備投資実施企業の割合は9.8%。なお、設備の状況は△1.9(同+1.9)と、卸・小売業、サービス業、建設業で不足となり、人手過不足についても△9.2(同△9.2)と、卸・小売業、サービス業、建設業で不足感がみられます。

■県中南部

売上額は△37.1(前期比+16.4)と厳しさが続くなか、原材料・仕入価格は3.6(同+5.1)とプラスに転じ、収益については△39.9(同+9.9)とマイナス域に留まっています。設備投資実施企業の割合は8.6%。なお、設備の状況は△3.7(同+1.9)と、製造業、卸・小売業、サービス業で不足となり、人手過不足については△5.6(同+1.3)と、不動産業を除く全業種で不足感がみられます。

来
期
の
見
通
し

予想業況判断D.I.は△33.5(今期比+6.4)の見通し!

来期の業況判断D.I.は、△33.5と今期に比べ6.4ポイント上昇する見通しとなりました。また、ブロック別における来期の業況判断D.I.は、県南西部△27.3(今期比+14.0)、県中南部△37.4(同+1.6)となりました。なお、その他の各予想D.I.の内容は以下のとおりです。

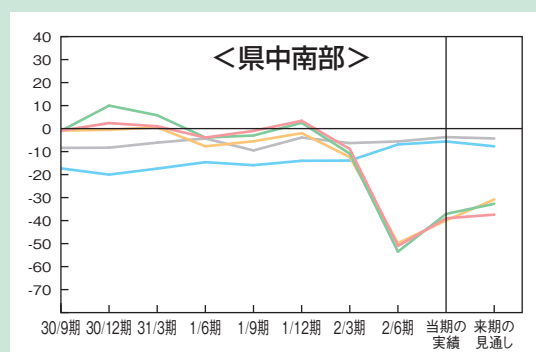
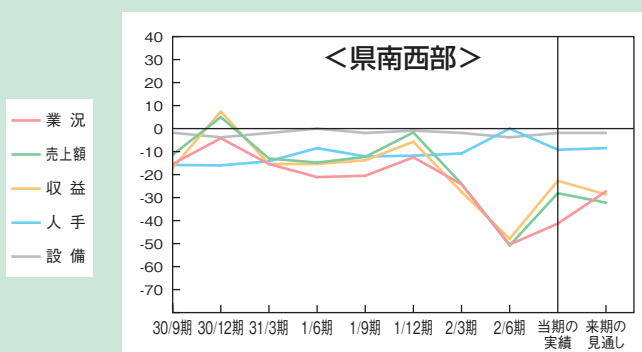
■県南西部

売上額は△32.2(今期比△4.1)、収益についても△28.6(同△5.9)と、ともに今期より低下する見通しとなり、業況は製造業で今期より後退する見通しです。

■県中南部

売上額は△32.7(今期比+4.4)、収益についても△30.8(同+9.1)と、ともにマイナス域に留まる見通しとなり、業況は製造業、サービス業で今期より後退する見通しです。

全業種総合D.I.の推移



製 造 業

業況判断D.I.
△36.9

予想業況判断D.I.
△41.5

回答企業 65社 (回答率94.2%)
県南西部 26社 / 県中南部 39社

■県南西部

業況判断D.I.は△53.8(前期比+18.2)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△30.8(前期比+38.4)、収益についても△30.8(同+46.1)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は8.0(同+16.0)とプラスに転じ、販売価格については△12.0(同+11.1)とマイナス域に留まっています。人手過不足は16.7(同△4.1)と過剰を示し、前期比残業時間は△24.0(同+4.0)と減少を示しています。設備の状況は11.5(同+7.7)と過剰を示し、設備投資実施企業割合は0.0%です。

予想業況判断D.I.は△57.7(今期比△3.9)の見通し!

予想D.I.は、売上額△42.3(今期比△11.5)、収益についても△38.5(同△7.7)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は0.0(同△8.0)と低下する見通しのなか、販売価格については△4.0(同+8.0)マイナス域に留まる見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は0.0%です。

■県中南部

業況判断D.I.は△25.6(前期比+4.4)と厳しさが続く!

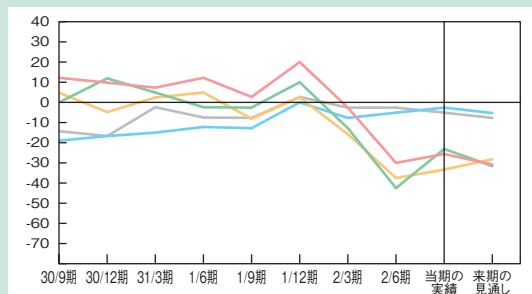
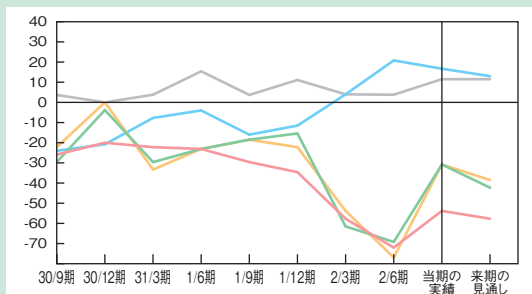
各D.I.は、売上額△23.1(前期比+19.4)、収益についても△33.3(同+4.2)と、マイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は0.0(同+2.5)と上昇し、販売価格については△10.3(同△5.3)と低下しています。人手過不足は△2.6(同+2.5)と不足を示すなか、前期比残業時間は△20.5(同+2.6)と減少を示しています。設備の状況は△5.1(同△2.5)と不足を示し、設備投資実施企業割合は5.6%です。

予想業況判断D.I.は△30.8(今期比△5.2)の見通し!

予想D.I.は、売上額△31.6(今期比△8.5)と低下し、収益については△28.2(同+5.1)と厳しさが続く見通しとなっています。原材料・仕入価格は7.7(同+7.7)と上昇する見通しとなり、販売価格については△7.7(同+2.6)とマイナス域に留まる見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は16.2%です。

今期の実績

来期の見通し



卸・小売業

業況判断D.I.
△55.1

予想業況判断D.I.
△40.3

回答企業 77社 (回答率97.5%)
県南西部 35社 / 県中南部 42社

■県南西部

業況判断D.I.は△51.4(前期比+5.7)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△34.3(前期比+20.0)、収益についても△27.3(同+27.0)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は8.6(同+5.7)、販売価格についても8.6(同+8.6)と、ともに上昇しています。人手過不足は△14.3(同△5.7)と不足を示し、前期比残業時間は△11.8(同+8.8)と減少しています。設備の状況は△5.7(同+0.2)と不足を示し、設備投資実施企業割合は16.2%です。

予想業況判断D.I.は△20.0(今期比+31.4)の見通し!

予想D.I.は、売上額△40.0(今期比△5.7)、収益についても△30.3(同△3.0)と、ともに低下する見通しとなっています。原材料・仕入価格は5.7(同△2.9)と上昇感が残る見通しとなるなか、販売価格についても5.7(同△2.9)とプラスを維持する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は10.8%です。

■県中南部

業況判断D.I.は△58.1(前期比△1.0)と停滞!

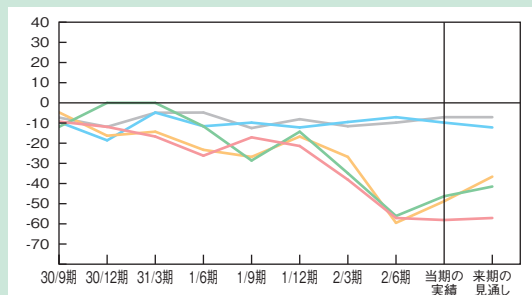
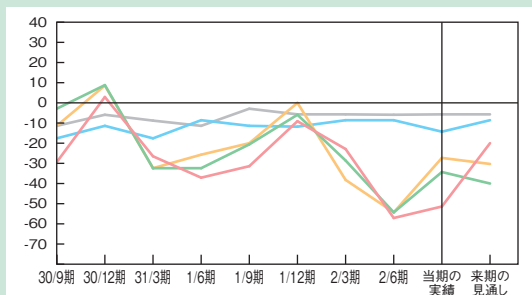
各D.I.は、売上額△46.3(前期比+9.8)、収益についても△48.8(同+10.7)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は14.0(同+16.4)とプラスに転じ、販売価格については△2.3(同+14.4)とマイナス域に留まっています。人手過不足は△9.8(同△2.7)と不足を示し、前期比残業時間は△26.8(同△12.5)と減少を示しています。設備の状況は△7.1(同+2.7)と不足を示し、設備投資実施企業割合は7.7%です。

予想業況判断D.I.は△57.1(今期比+1.0)の見通し!

予想D.I.は、売上額△41.5(今期比+4.8)、収益についても△36.6(同+12.2)と、ともにマイナス域に留まる見通しとなっています。原材料・仕入価格は16.3(同+2.3)と上昇する見通しのなか、販売価格については△2.3(同±0.0)と今期並みとなる見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は19.0%です。

今期の実績

来期の見通し



サービス業

業況判断D.I.
△29.5

予想業況判断D.I.
△31.1

回答企業 62社(回答率98.4%)
県南西部 22社/県中南部 40社

今期の実績

■県南西部

業況判断D.I.は△36.4(前期比+11.2)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△45.5(前期比△9.1)、収益についても△36.4(同△4.6)と、ともに低下しています。原材料・仕入価格は9.1(同△4.5)と上昇感が残るなか、販売価格は△23.8(同±0.0)と停滞しています。人手過不足は△13.6(同△3.6)と不足を示すなか、前期比残業時間は△18.2(同△3.9)と減少しています。設備の状況は△9.1(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施企業割合は12.5%です。

来期の見通し

予想業況判断D.I.は△27.3(今期比+9.1)の見通し!

予想D.I.は、売上額△45.5(今期比±0.0)、収益についても△36.4(同±0.0)と、ともに今期並みとなる見通しとなっています。原材料・仕入価格は4.5(同△4.6)と上昇感が残る見通しのなか、販売価格については△14.3(同+9.5)とマイナス域に留まる見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は20.8%です。

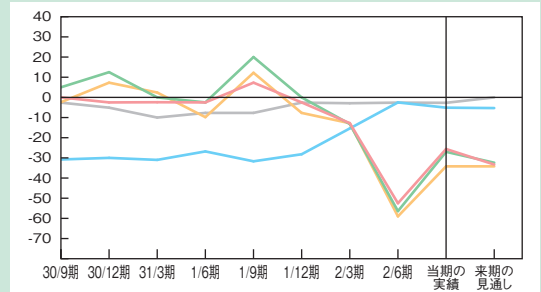
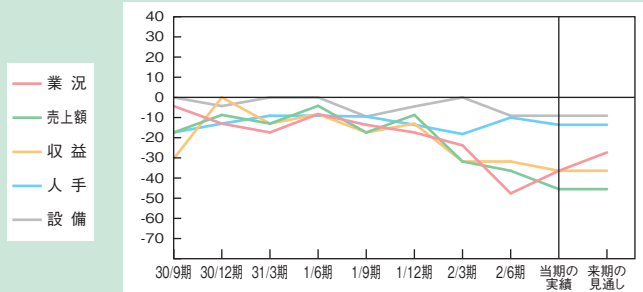
■県中南部

業況判断D.I.は△25.6(前期比+26.9)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△27.0(前期比+29.4)、収益についても△34.2(同+24.8)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は8.6(同+8.6)、販売価格についても2.8(同+2.8)と、ともに上昇しています。人手過不足は△5.1(同△2.6)と不足を示すなか、前期比残業時間は△12.8(同+12.2)と減少を示しています。設備の状況は△2.7(同△0.1)と不足を示し、設備投資実施企業割合は8.3%です。

予想業況判断D.I.は△33.3(今期比△7.7)の見通し!

予想D.I.は、売上額△32.4(今期比△5.4)と低下する見込みとなり、収益については△34.2(同±0.0)と今期並みとなる見通しとなっています。原材料・仕入価格は5.7(同△2.9)と上昇感が残る見通しとなるなか、販売価格については0.0(同△2.8)と低下する見通しとなっています。設備投資実施予定企業割合は14.3%です。



建設業

業況判断D.I.
△33.3

予想業況判断D.I.
△16.9

回答企業 67社(回答率89.3%)
県南西部 24社/県中南部 43社

今期の実績

■県南西部

業況判断D.I.は△20.8(前期比+12.5)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額0.0(前期比+54.2)と回復し、収益についても4.2(同+45.9)とプラスに転じています。原材料・仕入価格は16.7(同+8.4)と上昇するなか、販売価格については△8.7(同△0.4)と停滞しています。人手過不足は△29.2(同△29.2)と不足を示し、前期比残業時間は△4.3(同+24.9)と減少を示しています。設備の状況は△4.2(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施企業割合は8.0%です。

来期の見通し

予想業況判断D.I.は△8.3(今期比+12.5)の見通し!

予想D.I.は、売上額△8.3(今期比△8.3)、収益についても△16.7(同△20.9)と、ともに低下する見通しとなっています。人手過不足は△29.2(同±0.0)と不足を示し、設備投資実施予定企業割合20.0%です。

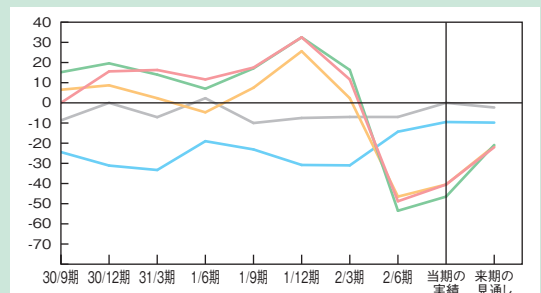
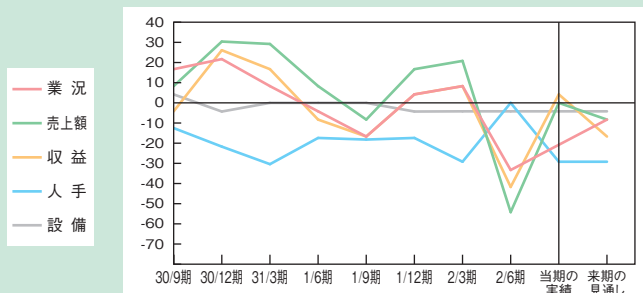
■県中南部

業況判断D.I.は△40.5(前期比+8.3)と厳しさが続く!

各D.I.は、売上額△46.5(前期比+7.0)、収益についても△40.5(同+6.0)と、ともにマイナス域に留まっています。原材料・仕入価格は2.4(同△6.9)と上昇感が残るなか、販売価格については△16.7(同△2.7)と低下しています。人手過不足は△9.5(同+4.8)と不足を示すなか、前期比残業時間は△14.3(同+2.4)と減少を示しています。設備の状況は0.0(同+7.0)と適正を示し、設備投資実施企業割合は12.5%です。

予想業況判断D.I.は△22.0(今期比+18.5)の見通し!

予想D.I.は、売上額△20.9(今期比+25.6)、収益についても△21.4(同+19.1)と、ともに厳しさが続く見通しとなっています。人手過不足は△9.8(同△0.3)と不足を示し、設備投資実施予定企業割合は10.0%です。



不動産業

業況判断D.I.
△41.2

予想業況判断D.I.
△37.3

回答企業 52社(回答率92.9%)
県南西部 14社/県中南部 38社

■県南西部

業況判断D.I.は△35.7(前期比△7.1)と後退!

各D.I.は、売上額△28.6(前期比△5.5)、収益についても△21.4(同△7.1)と、ともに低下しています。仕入価格は0.0(同+9.1)、販売価格についても0.0(同+9.1)と、ともに上昇しています。資金繰りについては0.0(同+16.7)と変化がないことを示しています。人手過不足は0.0(同±0.0)と適正を示し、前期比残業時間については0.0(同±0.0)と変化がないことを示しています。

予想業況判断D.I.は△21.4(今期比+14.3)の見通し!

予想D.I.は、売上額△14.3(今期比+14.3)、収益についても△14.3(同+7.1)と、ともにマイナス域に留まる見通しとなっています。仕入価格は0.0(同±0.0)、販売価格についても0.0(同±0.0)と、ともに今期並みとなる見通しです。

■県中南部

業況判断D.I.は△43.2(前期比+23.5)と厳しさが続く!

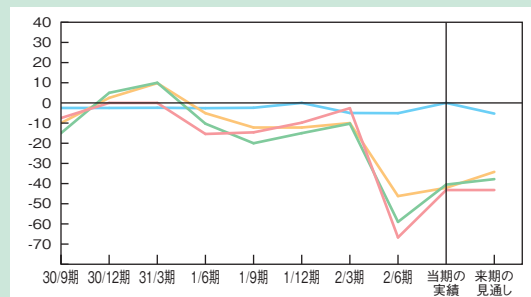
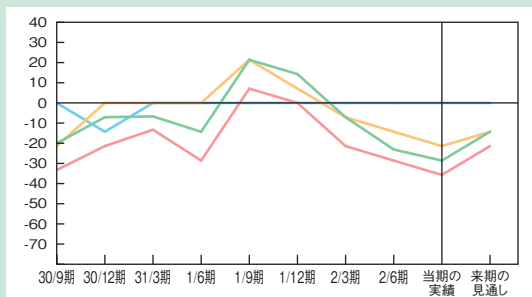
各D.I.は、売上額△40.5(前期比+18.5)、収益についても△42.1(同+4.1)と、ともにマイナス域に留まっています。仕入価格は△8.8(同+5.5)、販売価格についても△13.5(同+10.2)と、ともにマイナス域に留まっています。資金繰りについては△15.8(同+2.1)と悪化しています。人手過不足は0.0(同+5.1)と適正を示すなか、前期比残業時間については△13.2(同+13.1)と減少を示しています。

予想業況判断D.I.は△43.2(今期比±0.0)の見通し!

予想D.I.は、売上額△37.8(今期比+2.7)、収益についても△34.2(同+7.9)と、ともにマイナス域に留まる見通しとなっています。仕入価格は△5.9(同+2.9)とマイナス域に留まる見通しとなり、販売価格については△13.5(同±0.0)と今期並みとなる見通しです。

今期の実績

来期の見通し



調査員のコメントから

- 新型コロナウイルスの影響で売上が大幅に減少。人員削減のため、5月～8月に従業員を在宅勤務にしてきたが、それでも先の見通しが立たないため、希望退職を募り、人員削減を行った。(金属加工業・南西部)
- 医療用品需要の増加により、医療用プラスチック製品の受注が堅調である。(プラスチック製造業・中南部)
- 4～5月は在宅の人が多く、昼食等の売上が増加した。7月は雨が多く、8月は暑く、来店客は減少した。(パン製造、販売業・南西部)
- 商業施設内にテナントがあるため、客の動きも目立った鈍りもなく(7～8月)、売上は昨年同時期と比べ同程度で推移しているとのこと。(飲食業・中南部)
- 元々大手チェーンの車整備会社に押され、売上は減少傾向にあった。コロナの影響も多少はあるが、売上の減少はそういった業界を取り巻く事情に起因する部分が多い。(自動車整備、板金塗装業・南西部)
- 公共工事は前年と同程度受注できているが、イベントがほぼすべて中止となっているため、業況は非常に厳しいとのこと。年内のイベント警備も中止になる見通し。(警備業・中南部)
- コロナの影響による受注減少は多少あるものの、売上は安定して計上でできている。ただし、慢性的に人手不足を抱えているため、増員も視野に入れている。(建設業・南西部)
- 新型コロナウイルス感染症拡大により一般個人向けリフォームの受注がストップしていたが、最近受注が回復してきた。(冷暖房設備工事業・中南部)
- 直接的なコロナの影響は少ない。公共工事は変わらず、ハウスメーカー絡みの民間工事は動きが鈍い。(土木工事業・南西部)
- 4～6月期と比べるとコロナウイルスの影響も少なくなり、顧客からの相談、問い合わせ件数は増えているものの、前年よりは少ない状況にある。(不動産仲介業・中南部)

調査の要領

- 1.調査時点 令和2年9月1日～令和2年9月7日
- 2.調査方法 原則として、当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査
- 3.調査地域 当金庫本支店のある地区を以下の2地域に区分した地域

県南西部ブロック	大磯町、二宮町、中井町、小田原市下中地区
県中南部ブロック	平塚市、茅ヶ崎市、伊勢原市、厚木市

- 4.分析方法 D.I.判断指数を中心に分析
(D.I.: 調査企業による5段階の評価における「増加(A+B)」の全体構成比と、「減少(D+E)」の構成比との差)

増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
A %	B %	C %	D %	E %

中南信用金庫

<http://www.chunan-shinkin.co.jp>